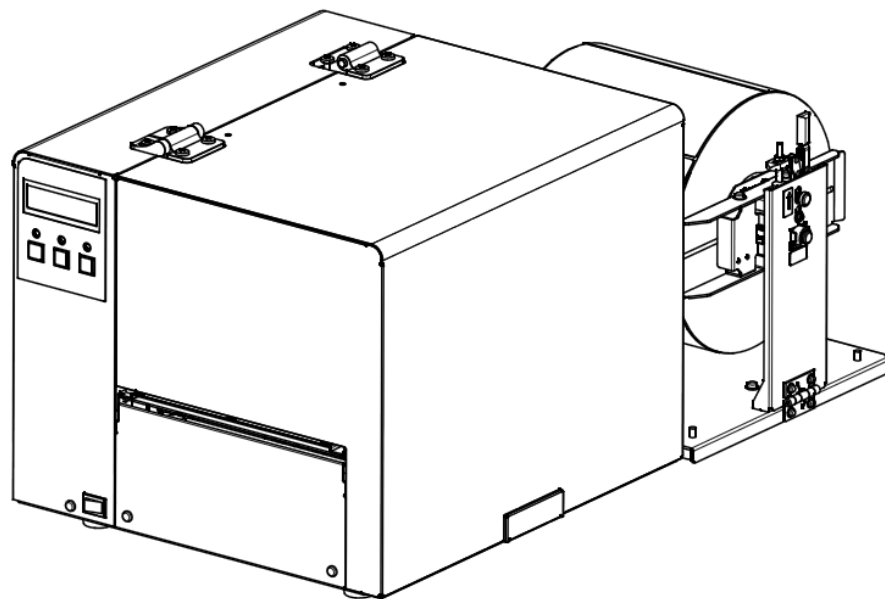




GHS612R シリーズ

プリンタ設定ツール操作マニュアル



サトー製プリンタには、サトーのサプライ製品 **純正[®]**のご使用をお願いします。

株式会社 サトー

目次

1.	はじめに	4
2.	インストール方法と起動方法	5
3.	設定値の修正方法のフロー	7
4.	索引（機能早見表）	8
5.	設定項目	14
6.	センサー確認	23
7.	カウンタ	23
8.	詳細設定への入り方	24
9.	プリンタ本体の設定値を設定ツールに読み込む場合	25
10.	設定ツールの設定データをプリンタ本体に送信する場合	27
11.	設定ツールの設定をパソコンに保存する場合	29
12.	パソコンに保存した設定ファイルを設定ツールに読み込む場合	30
13.	プリンタファームウェアを更新する場合	31
14.	プリンタのネットワークアドレスの確認と修正をする場合	35
15.	サーマルヘッドの断線チェックをする場合	37

1. はじめに

プリンタ本体の設定をパソコンから設定する操作方法について記述します。

注意

- 1) GHS612R は、本設定の内、ネットワーク設定を選ぶとエラーとなります。また、ブザー鳴動、断線チェック機能も、サポートされていません。
- 2) GHS612RⅡ、GHS612RⅢでは下記の注意点があります。
 - (1) 電源ON時にUSBケーブルでプリンタ本体とパソコンが繋がっていなければ、設定ツールによる設定はできません。
(後から、USBケーブルを繋げても、不可です)
 - (2) LAN通信で印字する場合、プリンタ本体とパソコンとをUSBケーブルで繋がれたままにしないで下さい。はずして、電源オフ、オンして下さい。USB通信で印字する場合は、繋がれたままで良いです。
 - (3) LAN通信でネットワークアドレスを更新し、更新したネットワークアドレスでLAN通信をする場合、プリンタ本体を電源オフ、オンして下さい。(プリンタのポート設定も適切に更新して下さい)

2. インストール方法と起動方法

GHS612Rプリンタで印字するためには、パソコンにGHS612R用のプリンタ設定ツールとプリンタドライバをインストールする必要があります。

2-1) インストール方法

“GHS612R 取扱説明書”のプリンタ設定ツールとプリンタドライバのインストールと設定についての項を参照して下さい。

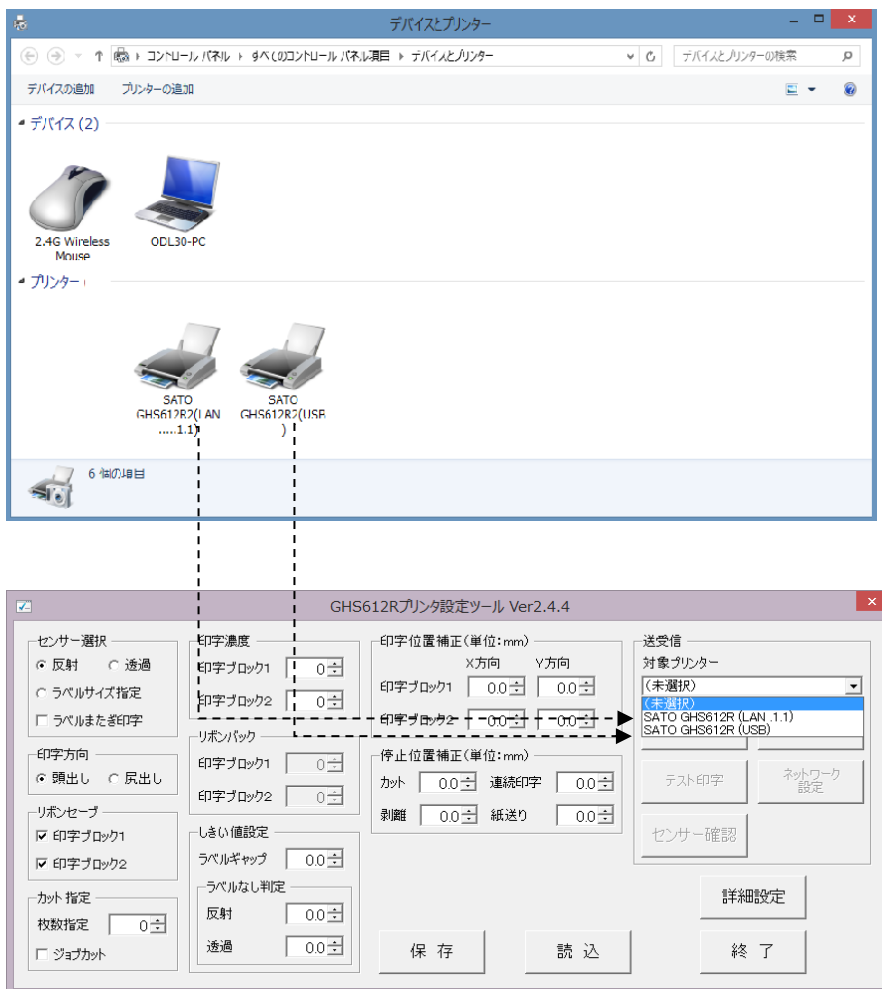
2-2) 起動方法

GHS612R Printer Setting Tool (ショートカット) をダブルクリックして下さい。次の画面 (トップ画面) が表示されます。



2-3) 対象プリンタのプルダウンメニューの詳細

2-3-1) コントロールパネルの“プリンタとデバイス”と対象プリンタのプルダウンメニューとの関係は、下図のようになります。



2-3-2) 対象プリンタのプルダウンメニューには、次の条件で表示します。

① USB接続プリンタ

パソコンとUSBケーブルで繋がり、プリンタ本体の電源がONの状態の対象プリンタ

② LAN接続プリンタ

パソコンとLAN接続、非接続、及びプリンタ本体の電源が、オン、オフに関わらず、コントロールパネルの“プリンタとデバイス”上に表示されているLAN接続対象プリンタ

注) プルダウンメニューから選択できますが、本設定ツール操作時、コネクションが不可の時は、エラーとなります。

3. 設定値の修正方法のフロー

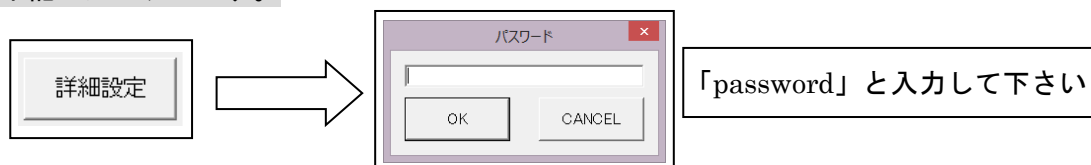
- 3-1) プリンタ設定ツールのトップ画面にて対象プリンタのプルダウンメニューより設定したいプリンタを選択します。(複数台接続している場合)
1台のプリンタに対し複数の印刷キューを設定している場合は、代表のキュー名だけが表示されます。
- 3-2) すでに保存されている設定ファイルの中身を修正する場合は、3-3)に、直接プリンタ本体の設定を修正する場合は、3-4)に進んで下さい。
- 3-3) すでに保存されている設定ファイルの読み込みを行って(本マニュアルの [12. 項](#)参照のこと) 3-5)に進んで下さい。
- 3-4) プリンタ設定ツールのトップ画面にて受信ボタンをクリックして下さい。
(接続しているプリンタの設定値をプリンタ設定ツールに読み込みます)
(注)プリンタに未発行のデータがある状態で、受信ボタンをクリックしないで下さい。
- 3-5) 修正したい設定項目を変更して下さい。
- 3-6) プリンタ設定ツールのトップ画面にて送信ボタンをクリックして下さい。
(設定値をプリンタ設定ツールから接続しているプリンタに送信します。)
- 3-7) 設定変更後、テスト印字等で適正な印字が行われているかを確認して下さい。
- 3-8) 設定値を保存ファイルに保存する場合は、保存ファイル名を指定して保存して下さい。(本マニュアルの [11. 項](#)参照のこと)。

4. 索引（機能早見表）

網掛けはサービスマンが設定する、詳細設定画面の項目です。

サービスマンが設定する項目は「詳細設定」です。

下記のルーチンです。


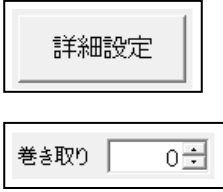


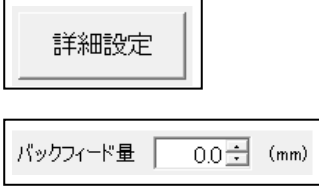




分類	変更したい内容	変更する項目
共通	ラベルの検出方法を切り替えます	センサー選択 <input checked="" type="radio"/> 反射 <input type="radio"/> 透過 <input type="radio"/> ラベルサイズ指定 <input type="checkbox"/> ラベルまたぎ印字
	印字濃度を変更します +10以下で使用、10以上は設定できません	印字濃度 印字ブロック1 <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> 印字ブロック2 <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/>
	印字データを180度回転します	印字方向 <input checked="" type="radio"/> 頭出し <input type="radio"/> 尻出し
	印字位置を上下左右に微調整します。 (X：横方向、Y：縦方向)	印字位置補正(単位:mm) X方向 Y方向 印字ブロック1 <input type="text" value="0.0"/> <input type="text" value="0.0"/> 印字ブロック2 <input type="text" value="0.0"/> <input type="text" value="0.0"/>
	印字しない領域で、リボンの無駄を軽減します。 ・印字無エリアを自動認識し、ヘッドアップし、リボン無駄を減らします	リボンセーブ <input checked="" type="checkbox"/> 印字ブロック1 <input checked="" type="checkbox"/> 印字ブロック2

	<p>使用するラベルの種類を指定する</p>	<p>使用ラベルの種類</p> <p>詳細設定</p> <p>使用ラベルの種類 合成紙</p>
	<p>使用するリボンの種類を指定する 赤リボンは第一ヘッド、黒リボンは第二ヘッドで使用してください。 (使用ラベルの種類を変更した場合はこの項目も選び直して下さい)</p>	<p>使用ラベルの種類> 使用リボンの種類</p> <p>詳細設定</p> <p>使用リボンの種類 印字ブロック1 [赤]C132AR 印字ブロック2 [黒]R135D</p>
	<p>ラベルの様式を指定する</p>	<p>ラベル設定>様式</p> <p>詳細設定</p> <p>様式 <input checked="" type="radio"/> 外巻き <input type="radio"/> 内巻き <input type="radio"/> 折り</p>
	<p>使用するリボンの幅を指定する</p>	<p>リボン幅選択</p> <p>詳細設定</p> <p>リボン幅選択 <input checked="" type="radio"/> 167mm 幅 <input type="radio"/> 100mm 幅</p>
	<p>プリンタのモードを切り替える</p>	<p>プリンタモード</p> <p>詳細設定</p> <p>プリンタモード <input checked="" type="radio"/> 連続印字 <input type="radio"/> カット <input type="radio"/> 剥離自動貼 <input type="radio"/> 剥離手動貼</p>

	<p>印字速度を変更する</p>	<p>印字速度</p> <p>詳細設定</p> <p>印字速度</p> <p><input type="radio"/> 高速</p> <p><input checked="" type="radio"/> 中速</p> <p><input type="radio"/> 低速</p>
	<p>ブザー鳴動の有効／無効を指定する</p>	<p>機能</p> <p>詳細設定</p>
	<p>断線チェックの有効／無効を指定する</p>	<p>機能</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ブザー鳴動 <input checked="" type="checkbox"/> 断線チェック有効 <input checked="" type="checkbox"/> リボン初期化</p>
	<p>リボン初期化の有効／無効を指定する</p>	
カットモード	<p>発行単位(スプールファイル)内の カット間隔を指定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・枚数指定にセット 	<p>カット指定 (枚数指定)</p> <p>枚数指定 <input type="text" value="0"/></p>
	<p>発行単位(スプールファイル)の終端で カットする/しないを選択します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョブカットをクリック 	<p>カット指定 (ジョブカット)</p> <p><input type="checkbox"/> ジョブカット</p>
	<p>カット位置を調整します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印字でのカット位置の調整です ・「FEED」でのカット位置は別調整 [下記] 	<p>停止位置補正 (カット)</p> <p>カット <input type="text" value="0.0"/></p>
	<p>FEED キー使用時のカット位置を調整 します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「FEED」の場合のカット位置調整 ・通常は「カット位置」と同じ値を 設定して下さい 	<p>停止位置補正 (紙送り)</p> <p>紙送り <input type="text" value="0.0"/></p>
	<p>カット非使用時の 停止位置を微調整します</p>	<p>停止位置補正 (連続印字)</p> <p>連続印字 <input type="text" value="0.0"/></p>

剥離モード 詳細は 「取扱い説明書」 を参照してくだ さい。	発行後の剥離完了待ち位置を 微調整します	停止位置補正（剥離） 剥離 <input type="text" value="0.0"/>
	ラベラーとの通信方式を指定します	ラベラー設定 > 種別 <input type="button" value="詳細設定"/> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content;"> 種別 <input checked="" type="radio"/> type1 <input type="radio"/> type2 <input type="radio"/> type3 <input type="radio"/> type4 </div>
	評価時など、ラベラーと通信できない 場合に指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ラベラーがない環境で、ラベラー （剥離機能）が評価できます 	ラベラー設定 （疑似ラベラー） <input type="button" value="詳細設定"/> <input type="checkbox"/> 疑似ラベラー
	剥離自動貼モードで、印字完了から バックフィード開始までの時間を 調整できます <ul style="list-style-type: none"> 印字完了後、剥離位置で指定の 時間停止させます 剥離したラベルをラベラーがこの時 間内に処理しなければならない時間 です 	剥離（待機時間） <input type="button" value="詳細設定"/> 待機時間 <input type="text" value="0.0"/> (秒)
	台紙搬送ローラのトルクの微調整 <ul style="list-style-type: none"> 「ラベル幅」はトルク自動調整に 加味されます 「台紙巻取」「トルク調整」でさらに 微調整できます 剥離ができない時、 台紙がチャント張ってない場合等 トルク UP で 1～3 の調整 台紙の引っ張りが強すぎる場合 印字が短くなった場合 -1～-3 の調整 「台紙巻取りセンサー」は未使用の事 	台紙巻取（トルク調整） ラベル設定（ラベル幅） <input type="button" value="詳細設定"/> トルク調整 <input type="text" value="0"/> ラベル幅 <input type="text" value="0"/> (mm)

	<p>台紙のバックフィード調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バックフィード時、台紙がきつかったり緩すぎた場合の調整 ・ゆるい場合は「-1~-3」 ・固い場合は「1~3」 	<p>ラベラー設定> テンション調整 (バック)</p> 
	<p>台紙巻取ユニットの巻き取りトルクの調整</p>	<p>ラベラー設定> テンション調整 (巻き取り)</p> 
<p>通常は 0 で使用する項目</p>	<p>バックフィード時にリボンを逆転させ無駄リボンを軽減できます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リボンバックフィード量は概算値です。+/-10mm ありますので注意の事 (この項目は設定できません) 	<p>リボンバック</p> 
	<p>特殊なラベルの検出方法を調整します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定外ラベルの場合のしきい値変更用です。「センサー確認」で、ラベルセンサー値を見て、調整して下さい。 ・「ラベルなし判定」はペーパーエンドチェック用です 	<p>しきい値設定</p> 
	<p>バックフィード量を調整する</p>	<p>ラベル設定>補正 (バックフィード量)</p> 

	<p>リボンのトルクを調整する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シワ対策等で使用します ・「巻き取り」の調整では「連続印字」モードでは、+5以下「カッターモード」「剥離モード」では+10以下で使用してください+10以上には設定できません 	<p>リボントルク調整</p> <p>詳細設定</p> 
	<p>印字の間延び/縮みを調整できます</p>	<p>その他（搬送速度調整）</p> <p>詳細設定</p> <p>搬送速度調整 0.00 (%)</p>
	<p>1枚目～5枚目までの印字開始位置を調整します</p> <p>ラベル長が短い場合に有効です</p>	<p>連続印字開始位置補正</p> <p>詳細設定</p> 

5. 設定項目

トップ画面でユーザーが確認または設定できる項目と詳細設定画面でサービスマンが設定または確認できる項目に分かれています。

5-1) センサー選択

印字に使用するラベルのラベル長をギャップで検出する場合は「透過」、アイマークで検出する場合は「反射」、ラベル開始位置を検出せず発行する場合は「ラベルサイズ指定」を選択してください。初期設定は、「反射」に設定されています。

※「ラベルサイズ指定」では FEED キーによる紙送りができません。

エラーからの復帰はプリンタの電源を切って、入れなおしてください。

・ラベルまたぎ印字

1 ページ分のレイアウトを複数のラベルにわたって印字する場合に使用します。

「反射」または「透過」と組み合わせて使用してください。

5-2) 印字濃度

予めプリンタ本体が持っている濃度（補正值 0）に対する補正值を設定します。

印字濃度を -10 ~ +10 の範囲で設定できます。-10 が一番薄く、+10 が一番濃くなります。

5-3) 印字方向

パソコンからの印字データの印字方向を選択します。正方向印字または、180° 回転印字にするかの選択です。初期設定は、正方向印字（頭だし）の設定です。

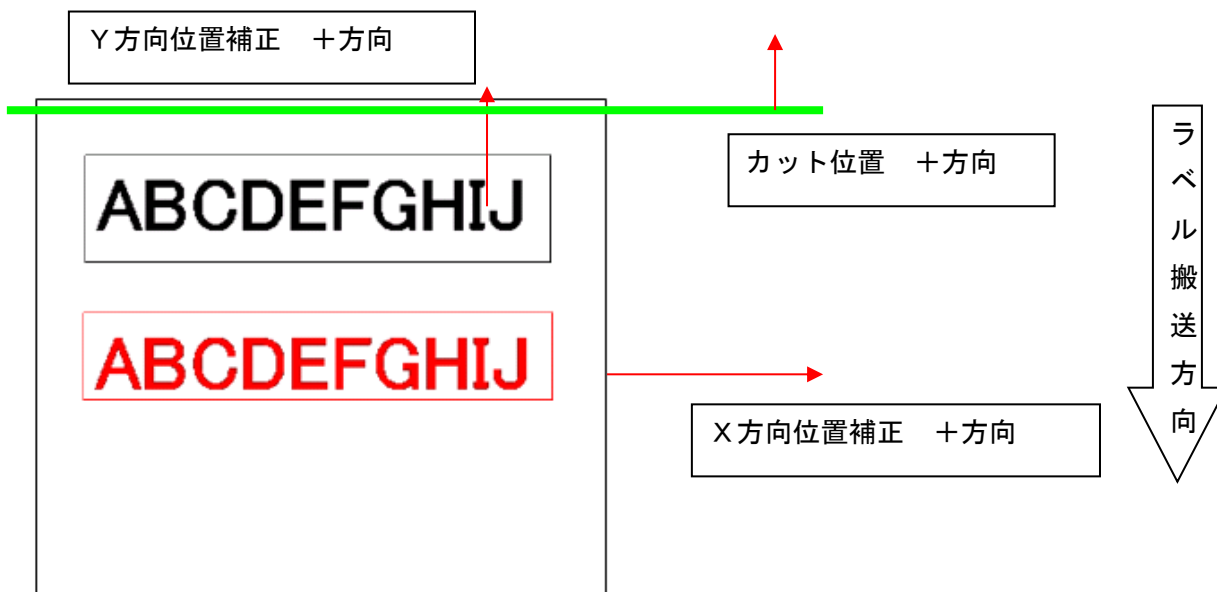
5-4) 印字位置補正

予めプリンタ内部が持っている印字開始位置（補正值0）に対する補正值を設定します。-99.9~99.9mmの範囲で設定できます。正方向/180°回転印字で、X方向、Y方向の位置補正の+/-が変わります。

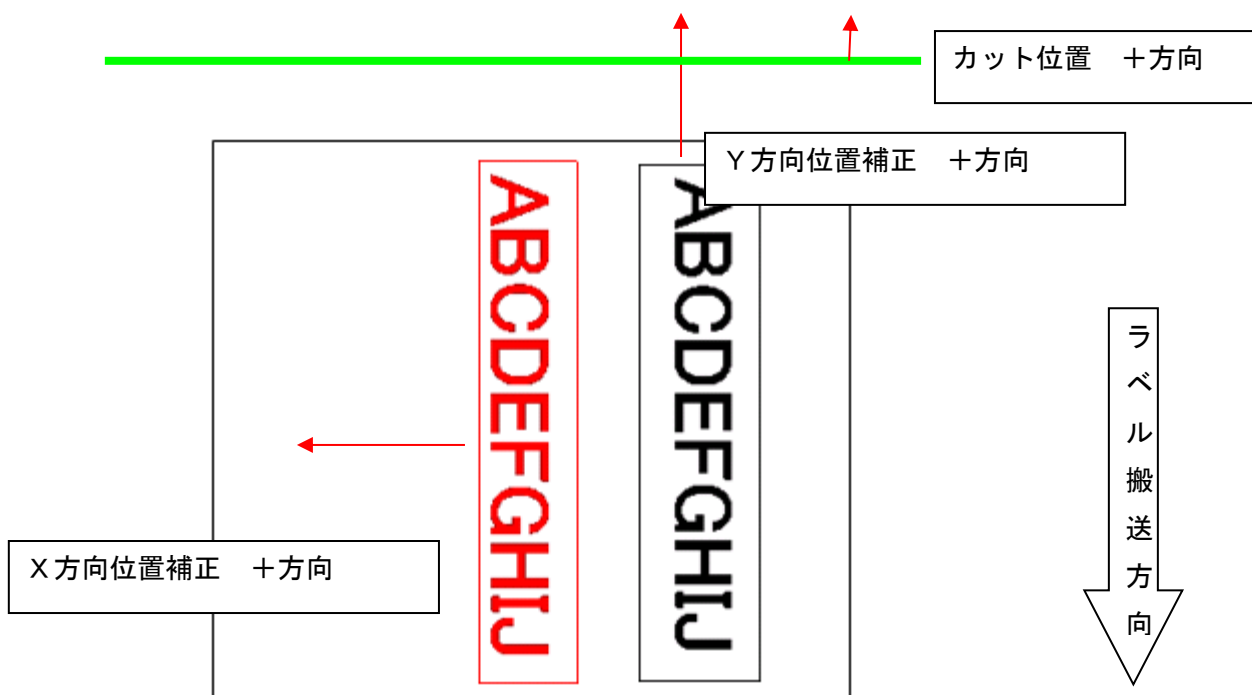
イ) 正方向（頭だし）の場合



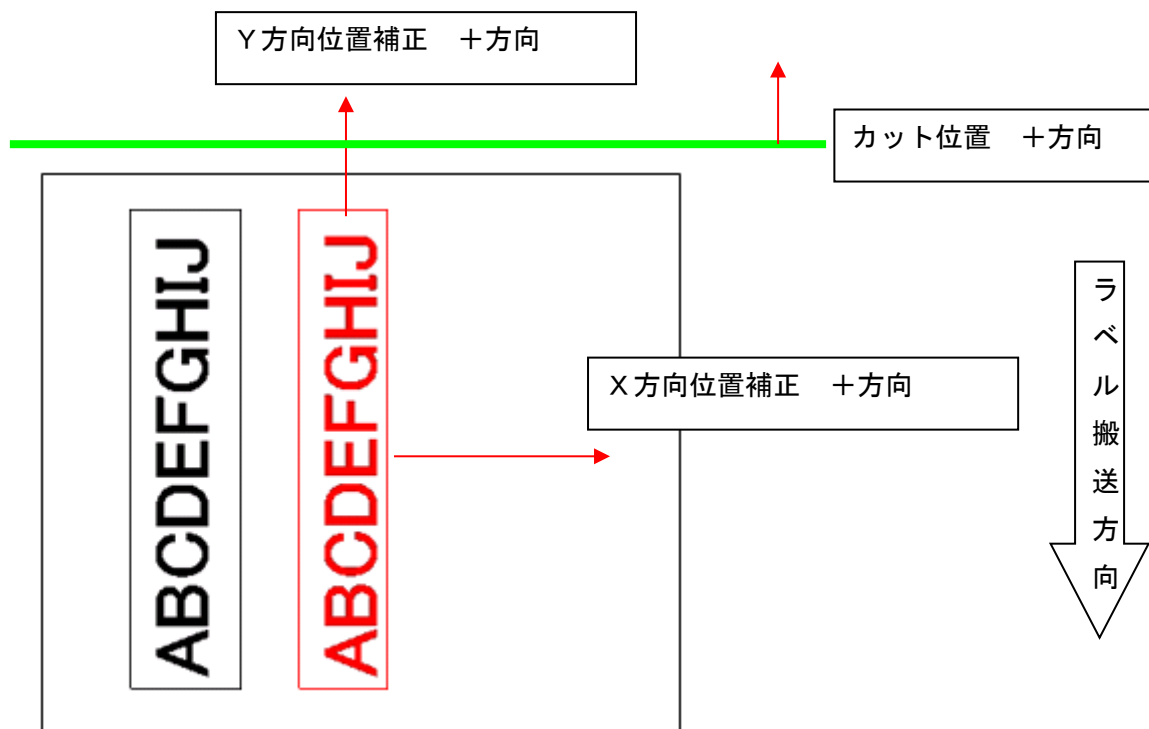
ロ) 180°回転（尻だし）の場合



ハ) Landscape (正方向(頭だし)の場合)



二) Landscape (180°回転(尻だし)の場合)



5-5) 連続印字停止位置

連続印字仕様（標準）に於いて、最後に印字終了したラベルの停止位置の補正です。
プリンタ内部で持っている位置（補正值0）からの補正です。
-15.0~99.9(mm)の範囲で設定して下さい。

5-6) 剥離位置

剥離印字仕様（オプション）に於いて、印字終了後に剥離のために待機する位置の補正です。プリンタ内部で持っている位置（補正值0）からの補正です。
-13.0~99.9(mm)の範囲で設定して下さい。

5-7) カット位置

カッター付き印字仕様（オプション）に於いて、カット位置の補正です。プリンタ内部で持っている位置（補正值0）からの補正です。
-25.0~99.9(mm)の範囲で設定して下さい。

5-8) 紙送り停止位置

カットモードに於いて、FEED キーを押した際にカットされる位置、または剥離系モードに於いて、FEED キーを押した際に剥離のために待機する位置の補正です。
プリンタ内部で持っている位置（補正值0）からの補正です。
剥離の場合は-13.0~99.9(mm)の範囲で、カットの場合は-25.0~99.9(mm)の範囲で設定して下さい。

5-9) リボンセーブ

印字データの中から、20mm 以上の無印字エリアを検知し、自動的にリボン駆動をストップさせる機能を有効にするか無効にするかの選択です。
この機能によりリボンの消費の無駄を無くします。初期設定は、有効の設定です。
但し、印字速度が高速に設定されていた場合は、無印字エリアの検知が20mm から40mm になります。

5-10) リボンバック

リボンの消費を少なくするために印字後、巻き戻しをする長さを調整します。
(この項目は設定できません)

5-11) しきい値設定

(注) 設定値が“0”の場合はプリンタ内部のしきい値で動作します。

本設定を使用するときは、(株)サトーで認定した以外のラベル(用紙)でセンサー調整しても規格値に調整できない時です。設定した値での動作には、十分な確認が必要です。

5-11-1) ラベルギャップしきい値の設定方法

〈注〉センサー選択により、「反射」又は「透過」のどちらかのしきい値になります。

- ① センサー選択で「反射」を選択した場合、反射センサーをアイマーク上で最小値、ラベル上で最大値になるように調整し、その最小値と最大値の平均値を設定して下さい。
- ② センサー選択で「透過」を選択した場合、透過センサーをラベル上で最小値、ギャップ上で最大値になるように調整し、その最小値と最大値の平均値を設定して下さい。

5-11-2) ラベルなし判定しきい値の設定方法

〈注〉センサーの真下にラベルがないと判断する値です。また、**ラベルなしの反射と透過の値は、必ず両方設定して下さい。**

- ① 反射の設定は、反射センサーをアイマーク上で最小値、ラベル上で最大値になるように調整し、ラベルなしの値とアイマーク上の値の平均値を設定して下さい。
- ② 透過の設定は、透過センサーをラベル上で最小値、ギャップ上で最大値になるように調整し、ラベルなしの値とギャップ上の値の平均値を設定して下さい。

5-12) カット指定

・枚数指定

カッター付き印字仕様(オプション)に於いて、同ースプールファイル内の何ページ毎にカットするかの設定です。0~999(ページ)を設定して下さい。

0の設定は、カットしません。初期設定は0です。

たとえばカット枚数を2に設定し、5ページのデータを印刷すると、2ページ毎にカットし、最後の1ページはカットしません。

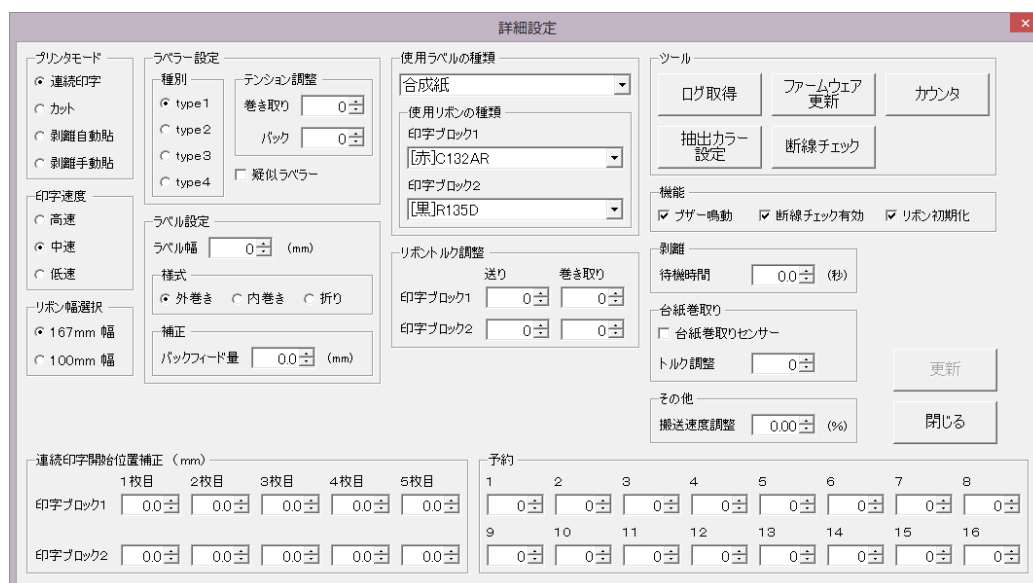
この状態でFEEDキーを押下すると、その場でカットし、バックフィードします。

・ジョブカット

有効にすると、スプールファイルの終端でカットさせることができます。

初期設定は無効です。

(注) ここからはサービスマン用設定項目 (詳細設定) になります。



5-13) プリンタモード

連続印字モード、カットモード、剥離自動貼モード、剥離手動貼モードの選択をして下さい。初期設定は、連続印字モードです。

5-14) 印字速度

低速、中速、高速の三段階の速度を選択して下さい。初期設定は、中速です。

5-15) 使用ラベルとリボンの種類の設定

- ① 使用するラベルの種類 (合成紙、Aコート、Sコート、キャストコート) を選択して下さい。初期設定は、合成紙です。
- ② 印字ブロック1に使用するリボンの型番を選択して下さい。
- ③ 印字ブロック2に使用するリボンの型番を選択して下さい。

5-16) リボントルク設定

印字ブロックごとに送り側と巻き取り側のリボン軸の回転トルクの補正値を設定して下さい。+方向は、トルクが大きくなり、-方向は小さくなります。

連続印字では、+5以下に設定して下さい。カッター使用時、剥離使用時は+10以下に設定して下さい。(−10~+10の範囲しか設定できません)

5-17) リボン幅選択

使用するリボンの幅を選択します。167mm、100mm 幅のどちらかを選択して下さい。初期設定は、167mm 幅です。

5-18) ラベル設定

- ・ 様式

使用するラベルの様式を、外巻き、内巻き、折り、から選択します。

初期設定は、外巻きです。

- ・ ラベル幅

台紙の幅を設定します。指示された場合に設定してください。

- ・ バックフィード量

バックフィード量に過不足のある場合、補正できます。

通常は0で使用してください。

5-19) ラベラー設定

※剥離モードの場合のみ、設定します。

取扱説明書に従って設定してください。

5-20) 剥離待機時間

剥離待ち時間の補正です。秒単位で補正值を入力して下さい。(0~9.9 秒)

※剥離モードの場合のみ、設定します。

5-21) 台紙巻取り

※剥離モードで、さらに必要のある場合のみ、設定します。

「取扱説明書」に従って設定してください。

5-22) 連続印字開始位置補正

認定ラベル以外のラベル長が短いラベルを連続印字し、最初の1枚目から5枚目の印字開始位置がずれた時、この補正により調整して下さい。

設定範囲は、-99.9~99.9(mm)です。

5-23) ブザー鳴動

電源オン時、エラー時、ブザー鳴動を有効／無効にする指定です。

初期値は、有効です。

(GHS612Rでは、設定されていても無効です)

5-24) 断線チェック有効

電源オン時、サーマルヘッドの断線チェック機能を有効／無効にする指定です。

初期値は有効です。

(GHS612Rでは、設定されていても無効です)

5-25) リボン初期化

電源オン後、リボンエラー、ヘッドオープンエラー復帰後、リボンを前後に回転させて、リボンの残量を測定します。印字時にその残量の値によりリボンを円滑に駆動して印字品質を上げます。

初期値は有効です。

5-26) その他

- ・ 搬送速度調整

印字が間延びしたり、又は縮んだ場合、搬送速度を遅くしたり、速くする場合の補正です。％単位で入力して下さい。(－5％～＋5％)

- ・ 予約1

ヘッドアップ中の“RIBBON CUT” エラー発報までのエラー要因累積回数に加算する値を指定できます。大きな値を入力すると、ヘッドアップ状態で“RIBBON CUT” エラーを検出しなくなります。

初期値は0で、設定範囲は0～999です。

指示された場合に設定してください。通常は0を設定してください。

(GHS612Rでは、バージョン「V001.00F」以降のファームウェアで使用できます)

(GHS612RⅡ、GHS612RⅢでは、全てのファームウェアで使用できます)

- ・ 予約5

ヘッドダウン中の“RIBBON CUT” エラー発報までのエラー要因累積回数に加算する値を指定できます。

初期値は0で、設定範囲は0～2です。

指示された場合に設定してください。通常は0を設定してください。

(GHS612Rでは、本機能は使用できません)

(GHS612RⅡでは、バージョン「V002.008」以降のファームウェアで使用できます)

(GHS612RⅢでは、全てのファームウェアで使用できます)

- ・ 予約 2、3、4、6～16
必ず 0 を設定してください。

5-27) 印字データに対する抽出カラーの設定

印字ブロック1印字条件		印字ブロック2印字条件	
R	100 ~ 255	R	0 ~ 99
G	0 ~ 255	G	0 ~ 255
B	0 ~ 150	B	0 ~ 255

印字データの中のどの範囲の色を、どの印字ブロックで印字させるかを指定します。
実際に印字される色は、各印字ブロックに装着されているリボンの色になります。

たとえば、印字ブロック1印字条件をR（0～99）、G（0～255）、B（0～255）とした場合、印字データのうち黒、緑、青、黄といった色で表現されている内容が、印字ブロック1のリボンで印字されます。

〈注〉 本設定は、パソコンに複数台プリンタが接続されている場合すべてのプリンタに共通です。

6. センサー確認

トップ画面で「センサー確認」ボタンをクリックすると各種センサーの検出状態を表示します。

温度(単位:°C)	センサー電圧(単位:V)	印字ブロック1	印字ブロック2
印字ブロック1: 0	透過センサー: 0.0	リボンテープスリット: <input type="radio"/>	リボンテープスリット: <input type="radio"/>
印字ブロック2: 0	反射センサー: 0.1	ヘッドロック検出: <input type="radio"/>	ヘッドロック検出: <input type="radio"/>
環境: 0	剥離ラベル検出センサー: 0.0	リボン送り: <input type="radio"/>	リボン送り: <input type="radio"/>
		リボン巻取り: <input type="radio"/>	リボン巻取り: <input type="radio"/>

センサー ON/OFF

ピンチローラロック検出: <input type="radio"/>	剥離接続: <input checked="" type="checkbox"/>	スイッチ1: <input type="radio"/>	オプション1: <input checked="" type="checkbox"/>
カッター接続: <input checked="" type="checkbox"/>	剥離センサー-1: <input checked="" type="checkbox"/>	スイッチ2: <input type="radio"/>	オプション2: <input checked="" type="checkbox"/>
カッターセンサー: <input checked="" type="checkbox"/>	剥離センサー-2: <input type="radio"/>	スイッチ3: <input type="radio"/>	オプション3: <input checked="" type="checkbox"/>
ラベル検出センサー: <input type="radio"/>	剥離センサー-3: <input checked="" type="checkbox"/>		

閉じる

7. カウンタ

消耗部品の交換時期などの確認や、消耗部品の交換時にリセットをします。

詳細設定画面にて「カウンタ」ボタンをクリックするとカウンタの画面が表示されます。

走行距離 (km)	0.0	リセット
ヘッド走行距離 (km)		
印字ブロック1	0.0	リセット
印字ブロック2	0.0	リセット
ヘッドUP/DOWN 回数		
印字ブロック1	0	リセット
印字ブロック2	0	リセット
カット回数	0	リセット

閉じる

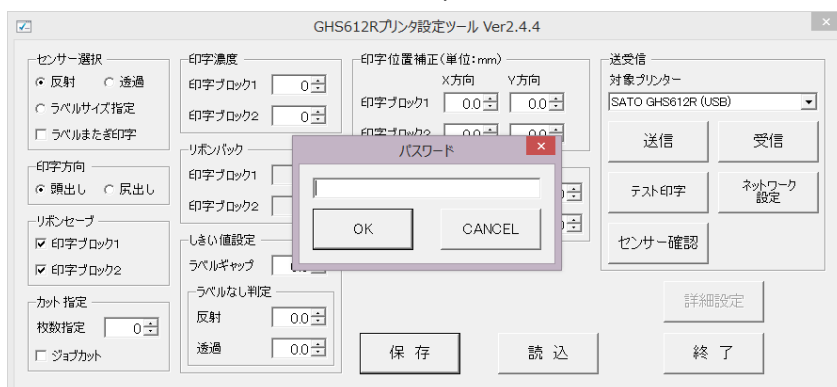
8. 詳細設定への入り方

サービスマンが設定する項目です。

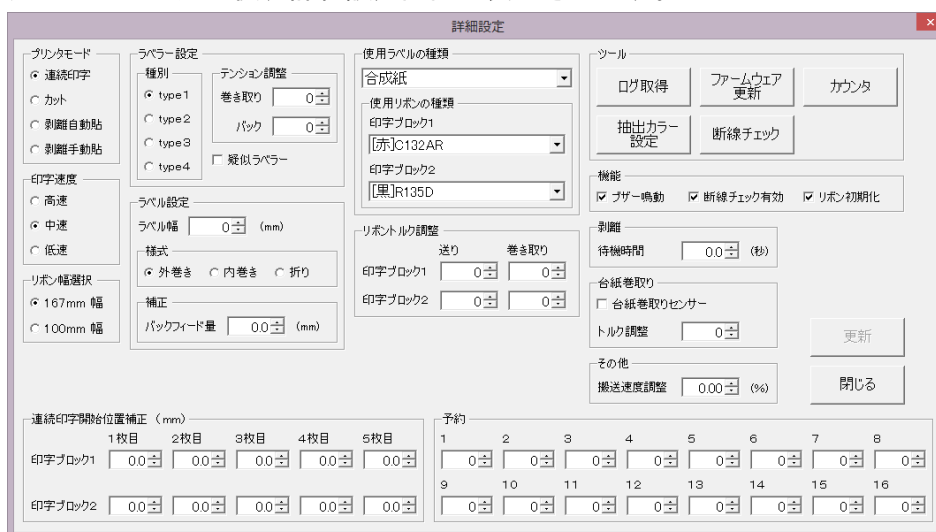
- 8-1) プリンタ設定ツールのトップ画面で「詳細設定」ボタンをクリックして下さい。パスワード要求画面が表示されます。「password」を入力して下さい。
(以降 パスワード要求の場合 「password」 入力して下さい)



- 8-2) パスワードを入力して下さい。「password」 入力して下さい



- 8-3) パスワード入力後、詳細設定画面が表示されます。



9. プリンタ本体の設定値を設定ツールに読み込む場合

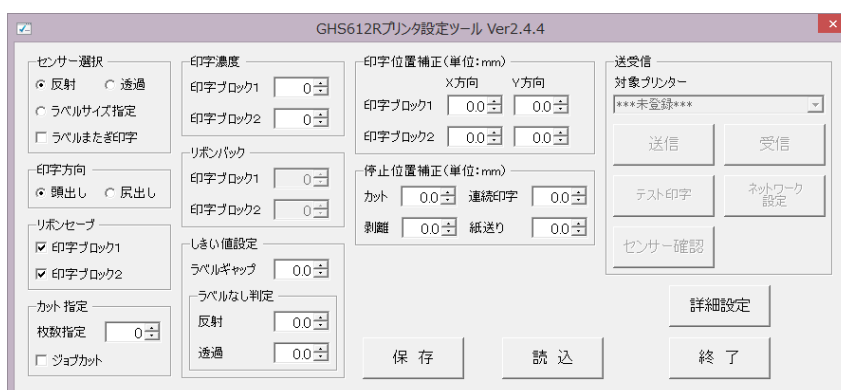
9-1) トップ画面の受信ボタンをクリックして下さい。



9-2) プリンタ本体からの設定データの受信が正常に終了すると次のメッセージが表示されます。



9-3) USBで受信しようとして、プリンタ本体の電源がOFF、又はUSBコネクタがはずれている場合、次のように受信ボタンの表示が、薄くなっていて、押下しても無視されます。



9-4) LANで受信しようとして、プリンタ本体の電源がOFF、又はコネクションが不可の場合次のようにエラーメッセージが表示されます。



10. 設定ツールの設定データをプリンタ本体に送信する場合

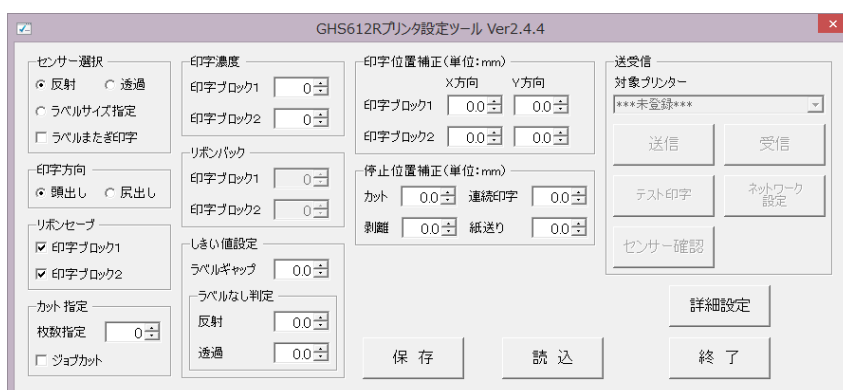
10-1) トップ画面の送信ボタンをクリックして下さい。



10-2) プリンタ本体に設定データを送信してプリンタ本体の設定が更新され、正常に終了すると次のメッセージが表示されます。



10-3) 送信しようとしてプリンタ本体の電源がOFF、又はUSBコネクタがはずれている場合、次のように送信ボタンの表示が、薄くなっていて、押下しても無視されます。



- 10-4) LANで送信しようとして、プリンタ本体の電源がOFF、又は
コネクションが不可の場合次のようにエラーメッセージが表示されます。

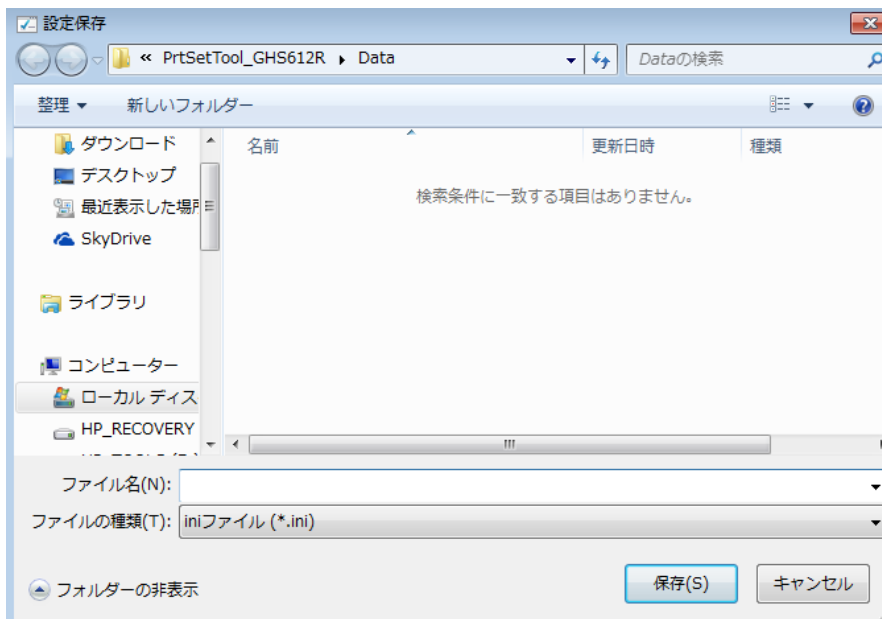


1 1. 設定ツールの設定をパソコンに保存する場合

1 1-1) トップ画面で**保存**ボタンをクリックして下さい。

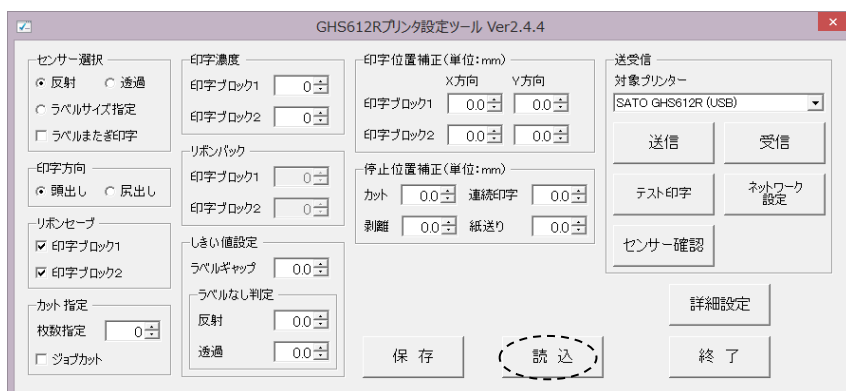


1 1-2) 次の画面が表示されるので保存ファイル名を入力して下さい。

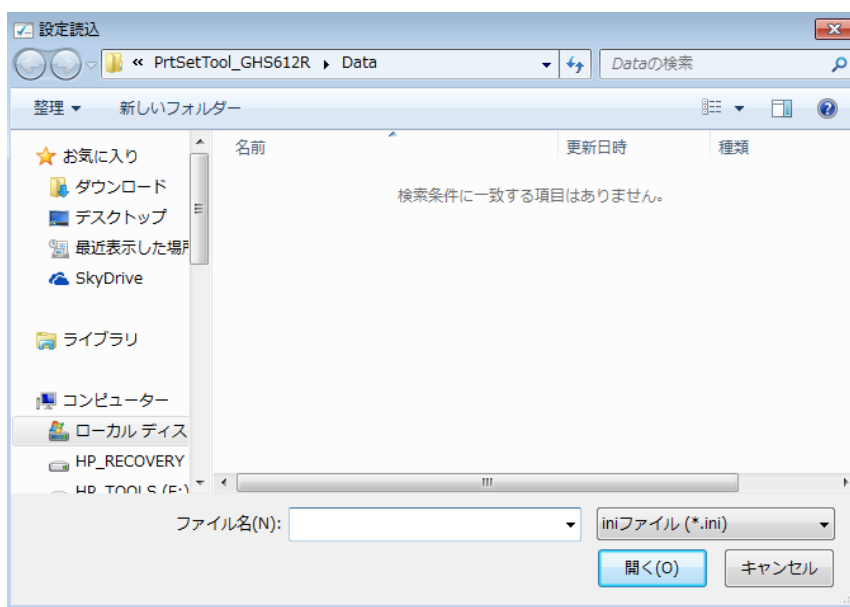


12. パソコンに保存した設定ファイルを設定ツールに読み込む場合

12-1) トップ画面で「読み込」ボタンをクリックして下さい。

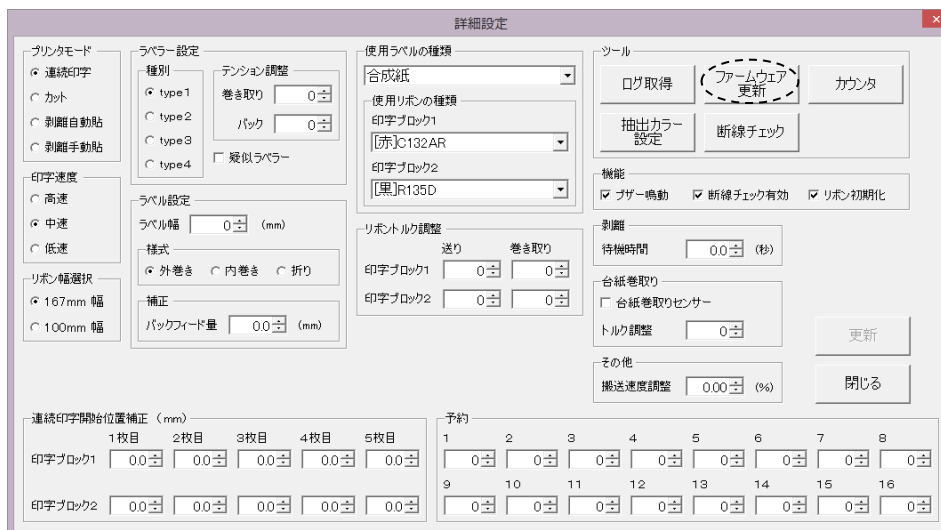


12-2) 次の画面が表示されるので読み込むファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックして下さい。

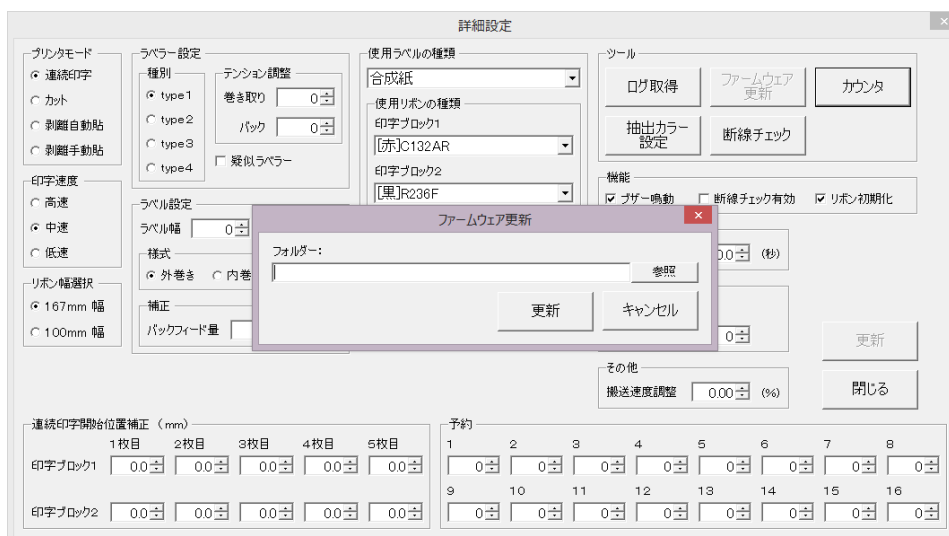


1 3. プリンタファームウェアを更新する場合

1 3-1) 詳細設定画面で「ファームウェア更新」ボタンをクリックして下さい。

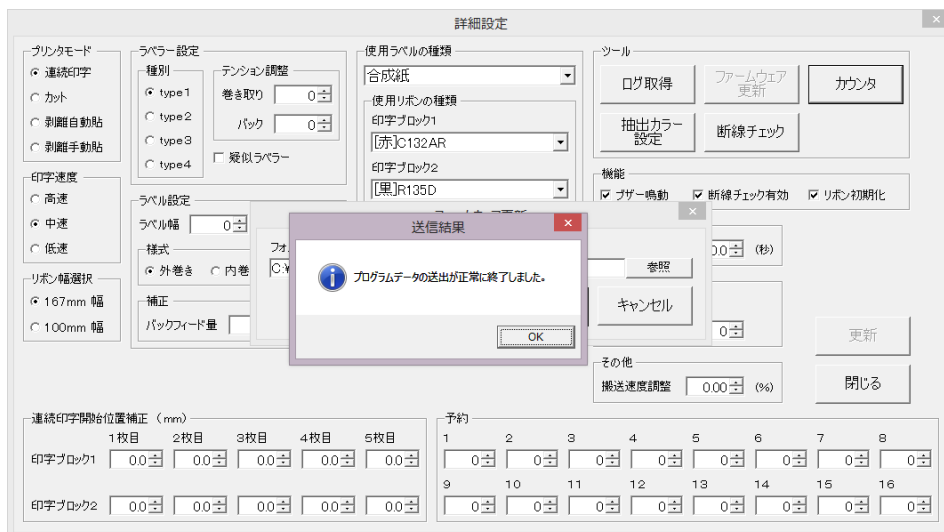


1 3-2) プリンタファームを保存したフォルダを参照して下さい。

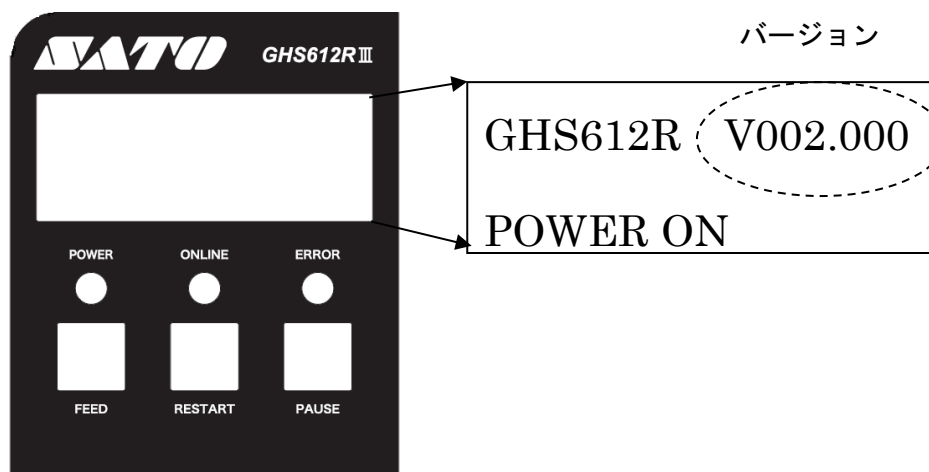


1 3 - 3) **更新** ボタンをクリックして下さい。

正常に更新が終了すると次の画面が表示されます。

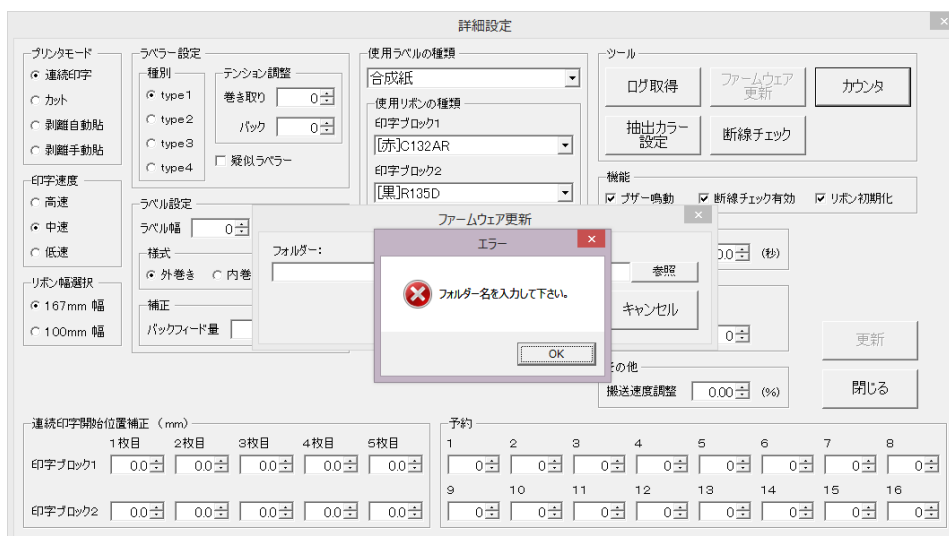


1 3 - 4) プリンタの電源をオフ、オンして、立ち上げ直し、液晶表示のバージョン表記を見て、更新されたことを確認して下さい。



13-5) 更新に失敗すると次のエラーメッセージが表示されます。

13-5-1) フォルダを指定していないで、更新ボタンをクリックした場合



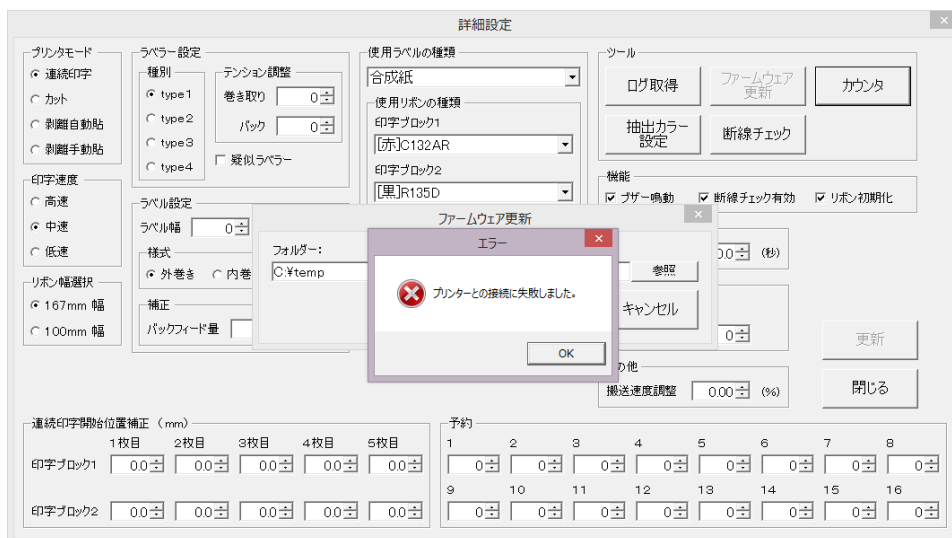
13-5-2) 更新すべきプログラムが入っていないフォルダを指定してクリックした場合



13-5-3) プリンタ本体の電源がOFF、又はUSBコネクタがはずれている場合



13-5-4) LANで更新しようとして、プリンタ本体の電源がOFF、又はコネクションが不可の場合次のようにエラーメッセージが表示されます。



1 4. プリンタのネットワークアドレスの確認と修正をする場合

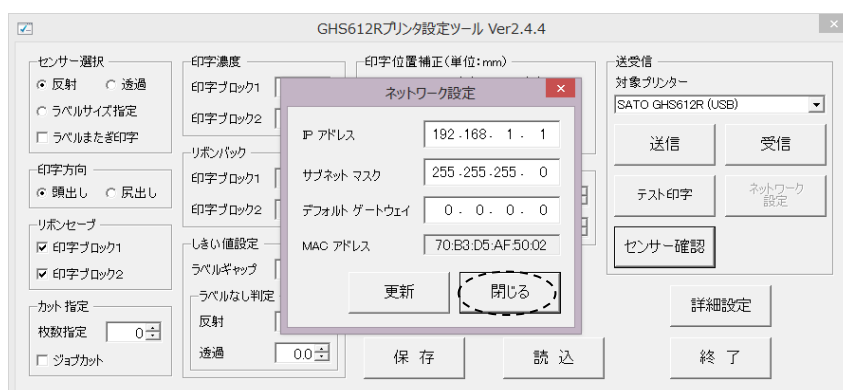
1 4-1) トップ画面の「ネットワーク設定」ボタンをクリックして下さい。




1 4-2) プリンターに設定されているネットワークアドレスが表示されます。

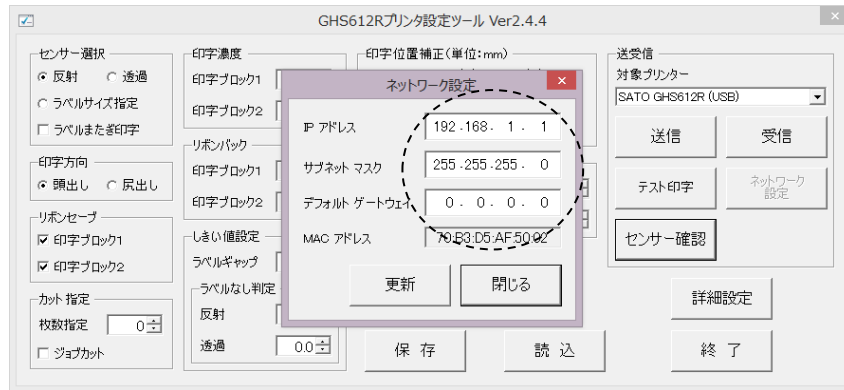


1 4-3) 確認だけの場合は、「閉じる」ボタンを押下して下さい。トップ画面に戻ります。

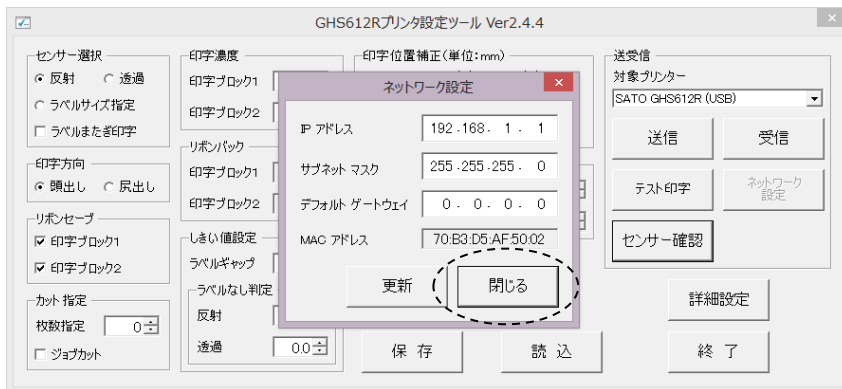


14-4) ネットワークアドレスを修正する場合は、 の箇所を下記の範囲で設定して **更新** ボタンを押下して下さい。(更新ボタンを押下した時点でプリンタ側は更新されます。)

- (1) IPアドレス 0.0.0.0~255.255.255.255
- (2) サブネットマスク 0.0.0.0~255.255.255.255
- (3) ゲートウェイアドレス 0.0.0.0~255.255.255.255



14-5) 終了する場合は、**閉じる** ボタンを押下して下さい。トップ画面に戻ります。

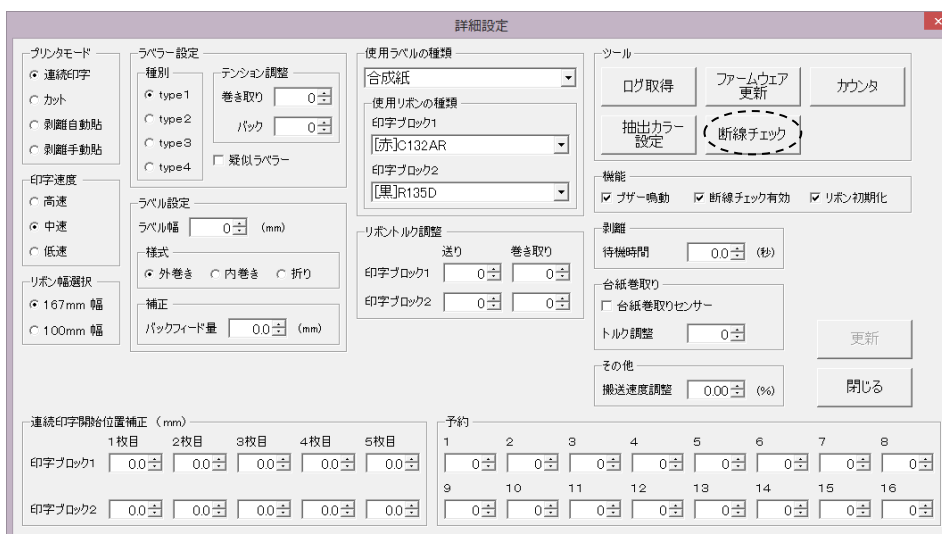


14-6) 対象プリンタがGHS612Rの場合は、LAN機能がないため、**ネットワーク設定** ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示されます。

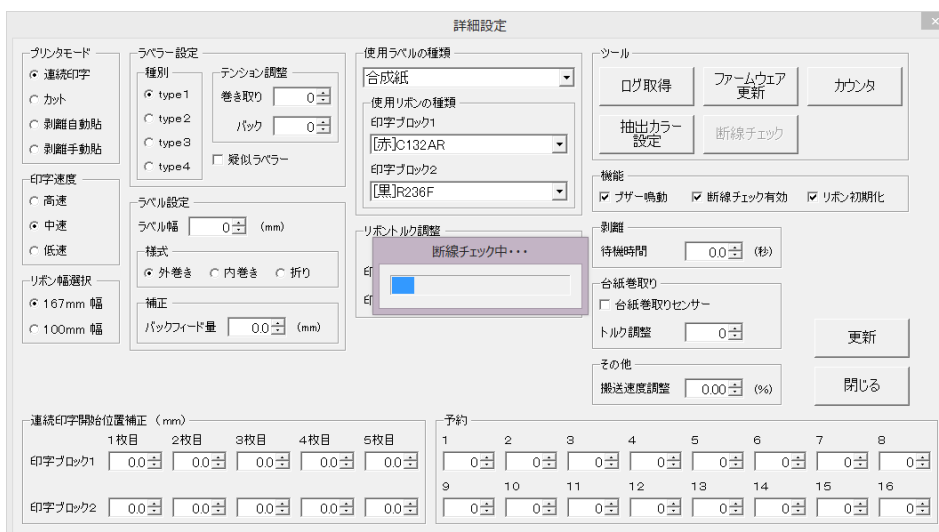


15. サーマルヘッドの断線チェックをする場合

15-1) 詳細設定画面の断線チェックボタンをクリックして下さい。

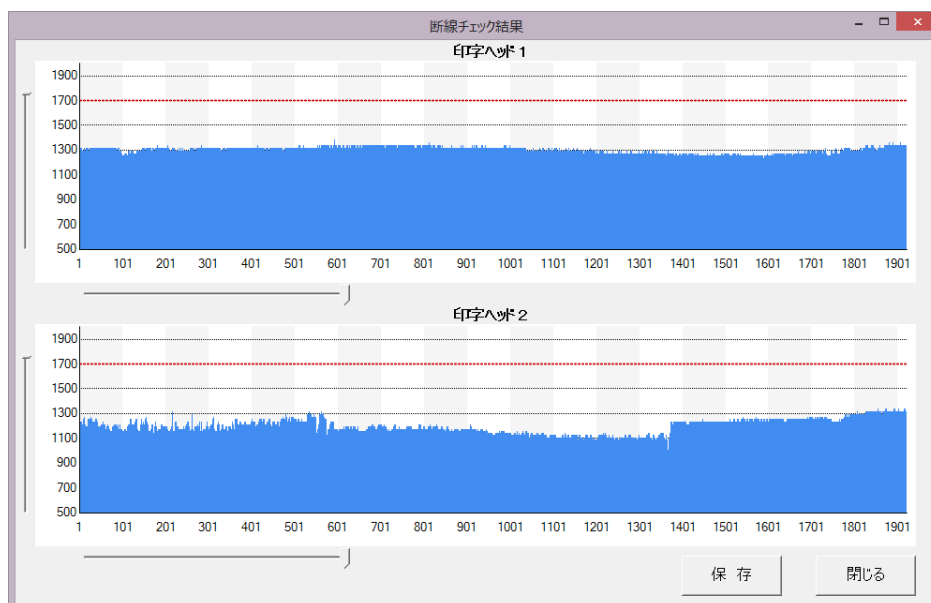


15-2) 次の画面が表示されます。



15-3) すべてのサーマルヘッドのセグメント（発熱体）のチェックが終了すると次の画面が表示されます。

15-3-1) 正常時の場合



15-3-2) 断線があった場合

